



の事とは思えない程、目を背けたくなるよう  
な光景でした。傍には、川がありました。こ  
こは火傷を負い、熱さに水を求めた多くの人  
がそのまま亡くなった場所ではないかと思  
いました。  
当時は、薬が足りなく火傷には酢と小麦粉  
を塗って代用し、腐ると悪臭がしてハエがた  
かり、卵を産み生きている人間にもウジ虫が  
わいたそうです。  
今は穏やかに何もなかったように流れてい  
ます。それだけ、過ぎていくということをも  
語っているかのようです。過ぎてしまおうと伝  
える人がいなければ、無かったようになり、  
また同じ繰り返しをしてしまいかもしれませ  
ん。だから、被爆者の鳥越さんは、意を決し  
て語ってくださいましたのだと思います。「幸せ  
とは呼吸ができること。」という言葉が印象的  
でした。平凡な毎日、当たり前と思っ  
ている事は、幸せな事で失ってから気づく  
大切な時間  
なのだと気づきました。それなので、毎日笑

顔  
で  
一  
所  
懸  
命  
に  
過  
ご  
し  
、  
感  
謝  
の  
心  
を  
忘  
れ  
な  
い  
よ  
う  
に  
心  
掛  
け  
た  
い  
と  
思  
い  
ま  
す  
。